

平成31年度 都立文化施設の催しについて(お知らせ)

都立の美術館、博物館、ホールでは、平成31年度もお客様に楽しんでいただける様々な事業を開催してまいります。今回はそれらの中で、各館の主要な主催事業について御案内いたします。

東京都現代美術館

リニューアル・オープン記念展
企画展
百年の編み手たち
—流動する日本の近現代美術—
MOTコレクション
ただいま/はじめまして

2019年3月29日～6月16日



森村泰昌《肖像(少年1、2、3)》1988年
※企画展「百年の編み手たち—流動する日本の近現代美術—」

トーキョーアートアンドスペース

トーキョーアートアンドスペース
レジデンス2019 成果発表展
予兆の輪郭

第1期 2019年4月13日～5月19日

第2期 2019年6月1日～7月7日



曾谷朝絵《Chords》2018年
バステル、紙 撮影:Kasagi Yasuyuki

東京都美術館

クリムト展
ウィーンと日本 1900

2019年4月23日～7月10日



グスタフ・クリムト
《ユディット1》1901年
ベルヴェデーレ宮
オーストリア絵画館
©Belvedere, Vienna,
Photo: Johannes Stoll

東京都江戸東京博物館

特別展
江戸のスポーツと
東京オリンピック

2019年7月6日～8月25日



勝川春英/画《小野川 谷風
引分の図》(部分)1791(寛政3)年頃
東京都江戸東京博物館蔵

東京都写真美術館

嶋田忠 野生の瞬間
華麗なる鳥の世界

2019年7月23日～9月23日



嶋田忠 シリーズ《アカシヨウビン》より
1981～87年
東京都写真美術館蔵

東京都庭園美術館

アジアのイメージ

2019年10月12日～2020年1月13日



香取秀真《鳩香炉》
千葉県立美術館蔵

江戸東京たてもの園

ぬくもりと希望の空間
～銭湯展

2020年2月4日～5月10日



江戸東京たてもの園
復元建造物 子宝湯

東京芸術劇場

芸劇dance ローザス
A Love Supreme ～至上の愛
2019年5月9日～12日
我ら人生のただ中において
/バッハ無伴奏チェロ組曲

2019年5月18日、19日



Rosas 「A Love Supreme」
©Anne Van Aerschot 東京芸術劇場

東京文化会館

オペラ夏の祭典2019-20
Japan↔Tokyo↔World
トゥーランドット

2019年7月12日～14日



左:総合プロデューサー・指揮 大野和士
右:演出 アレックス・オリエ



※事業名は変更する場合があります。会期は予定です。
上記以外の事業については、別紙をご覧ください。
※事業は、平成31年度予算が東京都議会で可決された後、実施いたします。
※東京都現代美術館は平成31年3月29日にリニューアル・オープンいたします。
※渋谷公園通りギャラリーは改修工事のため只今休館中です。

本件は、「ホストシティTokyoプロジェクト」に係る事業です。
「カテゴリー:魅力発信 プロジェクト名:東京文化プログラムの拡充・推進」

【お問い合わせ先】

生活文化局文化振興部 企画調整課

電話:03-5388-3158 FAX:03-5388-1327

公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局 総務課

電話:03-5610-3503 FAX:03-5610-2828

※個別の事業につきましては、別紙に記載の各施設の担当者までお問い合わせください。

東京都庭園美術館

事業名	会期	概要
「岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟」展	2019年1月26日～4月7日 20時まで特別開館: 3月29日、30日、4月5日、6日	1950年代に彗星のごとく登場した岡上淑子は、日本のシュルレアリスム運動を主導した瀧口修造に見出され、その才能を開花させました。戦後復興期の東京で入手した、 グラフィック雑誌の写真画像を切り抜いて制作したコラージュ作品 は独特の美しさを湛え、今や国際的な評価を得ています。本展では、国内外に所蔵されている約100点の作品を中心に、その活動の軌跡を展覧します。
「キスリング」展	2019年4月20日～7月7日	1891年にポーランドのクラクフで生まれたキスリングは、1910年にパリのモンマルトルで画家としての活動を始めます。ピカソやブラックとの出会いからキュビスムの影響を受けましたが、対象に対する深い観察力と鋭い感受性から、間もなく独自のスタイルを確立しました。その 洗練されたレアリズムと輝かしく官能的な色彩 によって、キスリングはエコール・ド・パリの作家たちのなかでも、特に長く愛されてきました。本展では約60点の作品によりキスリングの画業を振り返ります。
「建物公開 1933年の室内装飾」展	2019年7月20日～9月23日 21時まで特別開館: 7月26日、8月2日、9日、16日、23日、30日	本展は、1933年に竣工した朝香宮邸の建築としての魅力を紹介する、 年に1度の建物公開展 です。今回は、 建物の室内を構成する要素—木材や石材、タイル、壁紙、家具など—に焦点を当て、その素材や技法、携わった職人や企業について、工事仕様書やカタログ等の資料から解き明かします。
「アジアのイメージ」展	2019年10月12日～2020年1月13日 20時まで特別開館: 11月22日、23日、29日、30日、12月6日、7日	近現代の日本人が、 東アジアの古典美術を学ぶことによって日本美術を多様化させてきた軌跡を明らかにします。 展示部門「これまで」では、東アジア各地で発見された遺跡資料や考古遺物と、それに触発された 近代絵画、工芸品 を展示し、「これから」では、現代の日本人作家が東アジアの古典美術に触発されて制作する 新作オブジェ を展示します。
「ルネ・ラリック」展	2020年2月1日～4月7日 20時まで特別開館: 3月27日、28日	アール・ヌーヴォーから、アール・デコにいたる フランス装飾美術の展開のなかで常に中心的存在として活躍したルネ・ラリック。 本展では北澤美術館コレクションから、ラリックのガラス作品の変遷を紹介します。あわせて、旧朝香宮邸の室内装飾におけるラリック作品の意味を検証します。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京芸術劇場広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都庭園美術館
〒108-0071 港区白金台5-21-9
電話 03-3443-0201 FAX 03-3443-3228
<https://www.teien-art-museum.ne.jp/>
※ 開館時間: 10時～18時 (夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)
※ 休館日: 第2・第4水曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)

東京都江戸東京博物館(1)

事業名	会期	概要
特別展 「江戸の街道をゆく ～将軍と姫君の旅路～」	2019年4月27日～6 月16日	泰平の世となった江戸時代、幕府によって整備された街道には、さまざまな人の往来がありました。なかでも人々を圧倒させたのが、将軍や姫君たちの長大な行列でした。本展では、 将軍の上洛や日光社参、姫君の江戸下向に関する資料とおし、江戸の街道における旅路をたどります。 風景や道の姿は変わっても、先人たちが通った街道は現代の私たちにもなじみ深いものです。過去から現在まで続く街道の歴史を展観します。
企画展 「発掘された日本列島 2019」	2019年6月1日～7月 21日 21時まで特別開館: 7月19日	全国で毎年約9,000件行われている発掘調査の中から、 特に注目された出土品を選びすぐって紹介 します。多くの人々が埋蔵文化財に親しみ、その保護の重要性に関する理解を深めることを目的とします。あわせて、 太田道灌が江戸城を築いた時期、東京周辺の南武蔵はどのような様相だったかを紹介する地域展 を開催します。
特別展 「江戸のスポーツと東京オ リンピック」	2019年7月6日～ 8月25日 21時まで特別開館: 7月19日、26日、8月2 日、9日、16日、23日	日本に古くより伝わる 相撲や流鏑馬、蹴鞠等 が江戸時代に行われていた様子から、近代スポーツの受容と流通、そして東京 2020大会までをテーマに紹介する展覧会 です。東京で2回目となる オリンピック・パラリンピック開催の1年前に 、日本におけるスポーツとオリンピックの歴史をひもとくとともに、機運を盛り上げます。
企画展 「いきものがたり—江戸東 京のくらしと動物—」	2019年8月6日～9月 23日 21時まで特別開館: 8月2日、9日、16日、 23日、30日	江戸時代から現代にかけて、都市で暮らす人々にとって、生きものたちは、切り離すことができない大切な存在でした。時代や世相が移り変わる中で、様々な形で私たちの生活に関わってきました。本展では、 館の収蔵品を中心に、江戸東京の人々と生きものとの関係の歴史と文化を紹介 します。
特別展 「士サムライ—天下太平を 支えた人びと—」	2019年9月14日～11 月4日	日本をイメージするキーワードとして、内外を問わず「サムライ」が多用されています。しかし、その言葉は多分に感性的なものです。そこで本展では、 現代のサムライのイメージの原点である江戸のサムライを取り上げ、その実相を明らかに します。武家伝来の日用品や絵画・古写真を展示し、道具と風景の両面から彼らの実生活を紹介。江戸とその近郊に暮らしたサムライの姿を現します。
企画展 国際交流展「ユ・マンジュ のハニャン」	2019年10月22日～ 12月1日	1755年漢陽（現在のソウル）に生まれたユ・マンジュは、20才になった1775年から死没する直前の1788年まで、一日も欠かすことなく日記を書き続けました。 ユ・マンジュの日記を通して、18世紀後半の漢陽の風景やそこに暮らす人々の日常生活を紹介する展覧会を、ソウル歴史博物館と共同で初めて開催 します。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。

※上記事業の内、企画展は常設展示室内 5F企画展示室で実施します。

詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-9950

<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

※開館時間:9時30分～17時30分(土曜日は19時30分まで、夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)

※休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館)、年末年始

東京都江戸東京博物館(2)

事業名	会期	概要
特別展 「大浮世絵展－歌麿、 写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演」	2019年11月19日～ 2020年1月19日	2014年に開催した「大浮世絵展」の第2弾。今回は喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳の5人の絵師に焦点を絞り、より強く作品の世界観を伝えるとともに鑑賞者の心に訴えかけます。世界的に注目される人気絵師の傑作を一堂に会し、美の競演を展開します。国内外の傑作から、浮世絵の魅力を伝える展覧会です。
企画展 「徳川宗家2019」	2020年1月2日～2月 16日	公益財団法人徳川記念財団が所蔵する徳川將軍家に関する資料を、毎年特定のテーマに基づいて紹介します。
特別展 「江戸ものづくり列伝－ニッ ポンの美は職人の技と心 に宿る－」	2020年2月8日～ 4月5日	明治前期に日本を訪れたヨーロッパ貴族バルディ伯爵の日本コレクション（ヴェネツィア国立東洋美術館所蔵）の日本初公開をはじめ、江戸東京で活躍した職人たちの仕事と人生に光を当て、日本が世界に誇る「ものづくり」を紹介します。特に5人の名工－江戸を代表する2人の蒔絵師・原羊遊齋 <small>はらようゆうさい</small> と柴田是真 <small>しばたぜしん</small> 、葛飾北斎の弟子で絵師から金工の道に転じた府川一則 <small>ふかわかずのり</small> 、尾形乾山の陶芸を継承した鬼才の陶工・三浦乾也 <small>みうらけんや</small> 、超細密工芸を究めた小林礫齋 <small>こばやしれきさい</small> の作品で構成します。
企画展 「市民からのおくりもの 2019」	2020年3月10日～5 月6日	当館が新たに収蔵した資料を厳選して紹介する展覧会です。寄贈者に謝意を表すと同時に、博物館の資料収集及び保管活動も伝えます。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。

※上記事業の内、企画展は常設展示室内 5F企画展示室で実施します。

詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-9950

<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

※開館時間：9時30分～17時30分（土曜日は19時30分まで、夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館）

※休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館）、年末年始

江戸東京たてもの園(1)

事業名	会期	概要
武蔵野の歴史と民俗―「武蔵野郷土館」がのこしたモノたち	2019年2月5日～6月23日	江戸東京たてもの園(1993年開園)の前身である、武蔵野郷土館(1954年～1991年)から移管された「丸木舟」(縄文時代後期～晩期、千葉県千葉市花見川区内出土)をはじめとした考古資料のほか、生業や生活、信仰、娯楽に関する民俗資料、蛙にまつわる物品の収集家として知られる小澤一蛙(1876-1960)の関係資料などを紹介する展覧会です。
こどもの日イベント	2019年5月4日、5日	ゴールデンウィーク期間の2日間、子供たちが昔の暮らしの様子を体験できるイベントを開催します。昭和の商店建築が建ち並ぶ東ゾーンで、おつかいメモをもって昔の商店を巡る買い物体験をはじめ、鯉のぼりがそよぐ広場ではベーゴマ、茅葺きの民家では新聞紙でつくる紙の兜や風車作り等、園内全体で昔の遊びを存分にお楽しみいただけます。
七夕のつどい	2019年7月6日、7日	東京の各地で見られた七夕の情景を再現するイベントです。園内各所の七夕飾りに、願い事を書き入れた短冊を飾り、七夕展示にご参加いただけます。復元建造物内では、七夕に盆を迎える準備を行う習俗にちなんだ盆飾りの展示や、盆のウマをつくる催しの他、技芸向上の願いをこめて筆文字に挑戦する講座等、様々な七夕文化を体験することができます。
「小出邸と堀口捨己」展	2019年7月23日～2020年1月19日	建築家・堀口捨己と、当園に移築された、堀口の現存する数少ない住宅作品である小出邸に焦点をあてた展覧会です。同邸の特徴や魅力とともに、復元建造物の歴史的価値や、建造物保全の文化的意義等を紹介します。
夜間特別開園 下町夕涼み	2019年8月3日、4日 20時30分まで特別開園	開園時間を延長し、夏の夕べの過ごし方を体感していただけるイベントです。復元建造物の商店が建ち並ぶ「下町中通り」では提灯や建物の灯りがともり、普段とは違った賑わいを見せる街並みが広がります。広場に組んだ櫓からは盆踊りの音楽に合わせ太鼓の音が響き、夏祭りの風情を感じいただけます。日本の伝統的な民家では、夕べの涼やかな風を感じながら過ごしていただけます。
体験！発見！職人さん	2019年10月19日、20日	体験と鑑賞(発見)を通し、現在まで継承されてきた手仕事の世界への理解を深めるイベントです。体験型のプログラムとして、当園の収蔵建造物の修復や補修に係わる「職人さん」から技術を学ぶワークショップを開催します。また、鑑賞型のプログラムとして、東京の伝統工芸士による製作の実演などを実施し、熟練の職人の手わざを間近にご覧いただけます。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園
〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)
電話 042-388-3300 FAX 042-388-1711
<http://www.tatemonoen.jp/>
※ 開園時間: 9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)
※ 休園日: 毎月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

江戸東京たてもの園(2)

事業名	会期	概要
夜間特別開園 紅葉とたてものライト アップ	2019年11月22日～ 24日 20時まで特別開園	秋の夜長、紅葉が深まる時季に合わせ、特別に開園時間を延長して行うイベントです。園内の色づく木々とそこにたたずむ歴史的建造物をほのかな光で美しく照らし出し、建物の中には灯りがともる、昼間とは趣の異なる夜のたてもの園を散策していただけます。行灯やガス灯など、昔のあかりを学べる催しをはじめ、民家の囲炉裏や洋館の暖炉で暖をとる体験などさまざまなプログラムをお楽しみいただけます。
江戸の正月を楽しもう	2020年1月2日、3日	正月2日、3日に入園無料の特別開園を行い、皆様をお迎えするイベントです。園内の復元建造物にしめ飾りや門松を立て、新年にふさわしい伝統芸能をお楽しみいただけます。また、江戸時代より庶民に親しまれていた縁起物の「宝船絵」(印刷物)を、先着順でお配りします。
正月の昔あそび	2020年1月11日、12日	羽根つきや独楽まわしなどの外遊びや、かるた、双六、福笑いなどの室内遊びのほか、書初めや、お囃子の演奏等、正月に行われてきた伝統的な行事を体験することができるイベントです。お着物でお越しの方は割引でご入園いただけます。
成人の日はたてもの園へ	2020年1月13日	晴れの日を記念に、歴史ある建造物が建ち並ぶたてもの園で新成人をお祝いするイベントです。人力車での園内めぐりや、復元建造物の写真館内のスタジオでの記念撮影をしていただけます。新成人は無料でご入園いただけます。
ぬくもりと希望の空間 ～「銭湯」展	2020年2月4日～5月 10日	当園に移築・復元している、昭和4(1929)年建築の銭湯「子宝湯」から、東京型銭湯の独自の様式と展開を紹介する展覧会です。東京2020オリンピック・パラリンピックを控えた時期にあわせ、わが国独自の入浴の歴史や民俗についても紹介します。
たてもの園フェスティバル	2020年3月20日～28日	春分の日から当園の開園記念日にあたる3月28日までの9日間、子供から大人まで一緒に楽しめるイベントです。体を使って建物の形を表す「けんちく体操」をはじめ、園内の建物に関するクイズを解きながら巡るスタンプラリーや、ワークショップ、アーティストによるパフォーマンス等を日替わりで実施します。開園記念日の3月28日は入園無料でお楽しみいただけます。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

江戸東京たてもの園
〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)
電話 042-388-3300 FAX 042-388-1711
<http://www.tatemonoen.jp/>
※ 開園時間:9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)
※ 休園日:毎月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

東京都写真美術館(1)

事業名	会期	概要
「写真の起源 英国」	2019年3月5日～ 5月6日	写真発祥国のひとつである英国の初期写真が一堂に会する展覧会です。当館のコレクションに加え、世界最古の写真協会であるロイヤル・フォトグラフィック・ソサエティのコレクションを有するヴィクトリア&アルバート美術館やスコットランドの初期写真を所蔵するセント・アンドリューズ大学の貴重なコレクション等、関係機関の協力を得て日本未公開の初期写真を多数公開し、ヴィクトリア時代の英国から写真文化の起点を考察します。
「志賀理江子 ヒューマン・スプリング」	2019年3月5日～ 5月6日	国内外で高い注目を集める作家・志賀理江子の新作個展。ロンドン東部の団地住民を被写体とした〈Lilly〉及び、オーストリア、仙台等で制作した〈Canary カナリア〉を収録した初写真集で第33回木村伊兵衛賞を受賞。その後、宮城県北釜地区で被災した経験を表現に昇華した「螺旋海岸」他、独自のフィールドワークから視覚化された作品により国際的な評価が高まっています。本展では、志賀自身の数々の経験を基にした新作を紹介し、経験や記憶、歴史・社会との関係性を考察します。
「TOPコレクション イメージを読む 場所をめぐる4つの物語」	2019年5月14日 ～8月4日 21時まで特別開館： 7月18日、19日、25 日、26日、8月1日、2 日	TOPコレクションは東京都写真美術館のコレクションを二期にわたって紹介する展覧会シリーズです。第一期では「場所をめぐる4つの物語」を取り上げます。それぞれの作家たちが、ひとつの場所や地域を深く見つめた4つのアプローチに焦点をあて、その場所の固有の生活、風景、出来事、世界観を写真やテキストによって構成した作品群をとりあげます。(出品予定作家：W. ユージン・スミス、奈良原一高、内藤正敏、山崎博)。
「宮本隆司 いまだ見えざるところ」	2019年5月14日～ 7月15日	宮本隆司は、個展「建築の黙示録」、「九龍城砦」によって広く知られる存在となりました。建築空間を題材にした都市の変容・崩壊と再生の光景を、独自の視点で撮影した作品は国際的に高い評価をうけています。本展では初期の作品から、アジアの都市を旅して撮影した作品や、徳之島で取り組んだピンホール写真作品などを通して、いまだ見えざる人間とその場所について展観します。
「嶋田忠 野生の瞬間 華麗なる鳥の世界」	2019年7月23日～ 9月23日 21時まで特別開館： 7月25日、26日、8月1 日、2日、8日、9日、 15日、16日、22日、 23日、29日、30日	自然写真家・嶋田忠(1949-)の個展。嶋田は鳥獣の写真家として世界に知られ、「カワセミ」「アカショウビン」を力強く捉えた作品や、湿潤な日本の風土に生きる繊細な鳥獣の作品まで、その多彩な表現は高く評価されています。本展では、作家の約40年に及ぶ創作活動を概観するとともに、「世界最古の熱帯雨林」と言われるニューギニア島を舞台に、不思議な生態と華麗な姿で人々を魅了する貴重な野生動物たちを紹介します。
「TOPコレクション イメージを読む 時間と物語」	2019年8月10日 ～11月4日 21時まで特別開館： 8月15日、16日、22 日、23日、29日、30 日	イメージと物語性をテーマに、コレクションを二期にわたり紹介するシリーズの第二期。34,000点を超える当館のコレクションを通じて、作品にひそむ「物語」に注目しつつ、コレクションの新たな魅力を紹介します。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館
〒153-0062 目黒区三田1-13-3
電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033
http://www.topmuseum.jp
※開館時間：10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで、夏休み期間の木曜日、金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)
※休館日：毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

東京都写真美術館(2)

事業名	会期	概要
映像展 「ポーランド同時代美術における女性作家と映像」	2019年8月14日～10月14日 21時まで特別開館: 8月15日、16日、22日、23日、29日、30日	2019年は日本ポーランド友好100周年、また非共産主義国としてのポーランド共和国が成立して30周年目にあたります。本展では、共産主義政権下の1970年代から、東西冷戦の終結を経て、NATOに次いで欧州連合(EU)への加盟も果たした現在まで、 ポーランドの同時代美術の流れを、映像表現と女性作家の役割に焦点をあててたどりま す。
「洞窟 実像と虚像」	2019年10月1日～11月24日	「洞窟」をテーマとし、 国際的な作家、作品を紹介しながら、現代社会の課題を再考する展覧会 です。実際に洞窟をモチーフとしたものや、比喩や暗喩として捉えた多様な写真・映像作品を紹介し、視覚の歴史を照射します。また、視覚や身体感覚を通して、歴史・社会と人間の関わりという根源的な問題を深く考察する場を提供します。出品予定作家：ジョン・ハーシェル、ゲルハルト・リヒター、オサム・ジェームス中川 他
「生誕120年 山沢栄子 私の現代」	2019年11月12日～2020年1月26日	女性写真家のパイオニア・山沢栄子(1899-1995)の個展。山沢は東京女子美術学校日本画科選科卒業後、1926年に渡米し、写真に取り組みます。帰国後は関西を拠点にポートレートや広告写真の分野で活躍しました。1960年頃からは、抽象的な色彩と空間把握による斬新な作品を制作しました。 本展は、山沢栄子生誕120年を記念し、同時代のアメリカの写真家の作品を展覧しながら、山沢作品の再評価 します。
「日本の新進作家vol.16」	2019年11月30日～2020年1月26日	当館は、写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘することで、新しい創造活動の場となるよう、様々な事業を展開しています。その中核となるのが、毎回異なるテーマで開催している「日本の新進作家」展。シリーズ16回目は、「 至近距離の宇宙 」をテーマに、 ごく身近な日常から深遠な世界を見出し、作品を制作する新進作家を紹介 します。
「第12回恵比寿映像祭」 【アーツカウンシル東京事業】	2020年2月7日～2月23日 20時まで特別開館	映像分野における創造活動の活性化と、優れた映像表現を過去から現在、そして未来へと継承し、様々なジャンルとの対話を促す「恵比寿映像祭」。第12回目となる本展は、展示、上映、トーク・セッションなどを複合的に行います。 また国内外の美術館、関係機関、近隣との連携を深めながら、映像表現、視覚芸術の多様性を東京・恵比寿から発信 します。
「写真とファッション」	2020年3月3日～5月10日	「 写真とファッション 」をテーマとし、 国際的な作家、作品、資料等を紹介する展覧会 です。従来のファッション写真という枠組みを超えて、人々に訴えかけるイメージを作り出してきた写真家の作品や、インディペンデントなスタンスで発行されてきたファッション誌等、様々な角度から写真とファッションの関係性を探ります。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館
〒153-0062 目黒区三田1-13-3
電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033
<http://www.topmuseum.jp>
※開館時間:10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで、夏休み期間の木曜日、金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)
※休館日:毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

東京都写真美術館(3)

事業名	会期	概要
「日本写真開拓史 2ndシーズン 関東編」	2020年3月3日 ～5月24日	本展覧会は2007-17年に開催した「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史」展を元に、次の10年をかけて情報を更新するシリーズ展の第一弾「関東編」です。対象年代は写真渡来～日清戦争期頃とし、新たに関東地方の博物館、図書館、文書館、郷土資料館等に所蔵調査を行い、これらのオリジナル写真と関連資料から日本の初期写真史をたどります。
「白川義員 永遠の日本」	2020年3月20日～ 5月17日	白川義員(1935-)はこれまでに“地球再発見による人間性回復へ”を基本理念として、1969年出版の『アルプス』から『ヒマラヤ』『アメリカ大陸』『聖書の世界』『中国大陸』『神々の原風景』『仏教伝来』『南極大陸』『世界百名山』『世界百名瀑』まで、10のシリーズを発表しました。シリーズ第11作となる『永遠の日本』は、日本人の誇りと魂を復興する一助になりたいという作家自身の願いが込められた、崇高で美しい日本の自然を紹介します。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館
〒153-0062 目黒区三田1-13-3
電話 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033
<http://www.topmuseum.jp>
※開館時間:10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで、夏休み期間の木曜日、金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)
※休館日:毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

東京都現代美術館(1)

事業名	会期	概要
リニューアル・オープン記念展 「百年の編み手たち - 流動する日本の近現代美術 -」	2019年3月29日～6月16日 3月29日は20時まで特別開館	1910年代から2010年代に至る日本の美術において、新旧のさまざまな表現や技法を編集的な視点で捉え、独自の創作を展開した編み手である作家たちの実践を、当館のコレクションを核に検証する展覧会です。さまざまな要素の選択的な「編集」を通して主体を揺るがせつつ制作を行う作家たちの実践に着目し、その背景を探ります。さらに、時代とともに変化してきた、当館が位置する木場という地域をめぐる創造も紹介し、日本の近現代美術史のなかに点在する重要な作品群を企画展示室3フロア全体を使って総覧します。
リニューアル・オープン記念展 「MOTコレクション ただいま／はじめまして」 第1期、第2期	[第1期] 2019年3月29日～6月16日 3月29日は20時まで特別開館 [第2期] 2019年7月20日～10月20日 21時まで特別開館: 7月26日、8月2日、9日、16日、23日、30日	リニューアル・オープンを記念した今回のコレクション展では、休館中に新たに収集した作品を中心に紹介します。第一弾は、主に2010年代に制作された作品群に焦点を当てながら、修復後の作品のお披露目なども行います。これまで「MOT コレクション」をご覧いただいた方も、今回初めてご覧になる方も、作品それぞれの魅力に触れていただくことができます。
TOKYO ART BOOK FAIR 2019	2019年7月12日～15日	TOKYO ART BOOK FAIRは、2009年にスタートした、アート出版に特化する日本で初めてのブックフェアです。10回目の開催となる今回は、展示室においてアメリカの出版文化や日本人作家によるアートブックを紹介すると共に、さまざまなゲストを交えてのトークイベント等を開催します。パブリックエリアではアートの文脈において価値のある書籍、独創的なアイデアをかたちにしたアーティストブック、一般書店では手に入らない少数のZINE(自主制作出版物)等を作る出版社やギャラリー、アーティストが一堂に会します。
「あそびのじかん」	2019年7月20日～10月20日 21時まで特別開館: 7月26日、8月2日、9日、16日、23日、30日	「遊び」をテーマにした、子どもから大人まで、ファミリーで楽しめる展覧会です。一見ゲームのような参加型インスタレーションやひとり遊びの痕跡のような表現等、ユニークな作品をとおり、遊びとアートの関係を探ります。色や形、感触、音や動き等子どもにとって楽しい刺激があると同時に、大人にとっては現代を取り巻く閉塞感から抜け出すヒントとなるような、遊び心あふれるアーティストの作品を紹介します。
MOTサテライト 2019 ひろがる地図 【アーツカウンシル東京事業】	2019年8月3日～10月20日 21時まで特別開館: 8月9日、16日、23日、30日	美術作品をまち歩きと共に楽しみ、「まち＝地域」の魅力を再発見する「MOTサテライト」の4回目。今回のテーマは「地図」です。当館内でアーティストが表現した地図空間を追体験した後、清澄白河のまちを歩いてみてください。知らない土地を探検する手がかりであり、自分の視点を映し出す鏡ともなる「地図」は、わたしたちが暮らすまちへのまなざしも変えることでしょう。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京都現代美術館広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都現代美術館
〒135-0022 江東区三好4-1-1
電話 03-5245-1134 FAX 03-5245-1141
http://www.mot-art-museum.jp
※ 大規模改修工事のため、平成31年3月28日まで休館中
※ お問い合わせ受付: 平日9時30分～18時(平成31年3月28日まで)、
※3月29日以降は美術館開館日に準ずる。(10時～18時)
※ 開館時間: 10時～18時(夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)
※ 休館日: 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

東京都現代美術館(2)

事業名	会期	概要
「MOTアニュアル 2019」	2019年11月16日～ 2020年2月16日	本展は、異なる文化や表現領域が混合する空間としての東京に拠点を置く美術館ならではの視点から、日本の若手作家の作品を中心に、現代美術の一側面を切り取り、問いかけや議論の始まりを引き出すグループ展です。15回目となる今回は、身の回りの環境や事物、現象から表現の兆候を読み取り、それを編集していく媒介者的な活動を行う作家たちを紹介します。
「ミナ ペルホネン／皆川明 つづく」	2019年11月16日～ 2020年2月16日	デザイナーの皆川明(1967-)が立ち上げたファッション・テキスタイルブランド「ミナ ペルホネン」(1995-2004は「ミナ」)。長年着用でき、創造的かつ普遍的な価値を持つ「特別な日常服」を提案し、生地産地と深いコミュニケーションを重ねながらものづくりをしています。本展では、作り手と使い手の双方に価値を生み出すデザインを基本とする皆川明とミナ ペルホネンの思想・活動を紐解き、現代におけるものづくりの意味とデザインの社会的役割を考察します。
「ダムタイプ—アクション＋リフレクション」	2019年11月16日～ 2020年2月16日	ダムタイプは、日本を代表するメディアアーティストグループです。京都での結成後、彼らは「デジタルと身体」、「ポストヒューマン」のヴィジョンを先駆的に表現しました。結成35周年を迎え、古橋悌二らメンバーの個性や現在に通じるメッセージを体感する契機となる本展では、仏ポンピドゥー・センター・メッスの個展に作品・活動のアーカイブが加わります。また、池田亮司・高谷史郎の作品を含む大型インスタレーションを展開します。
リニューアル・オープン記念展 「MOTコレクション いま—かつて 複数のパースペクティブ」 第3期、第4期	[第3期] 2019年11月16日～ 2020年2月16日 [第4期] 2020年3月14日～6月14日	第3・4期では、近年に收藏されたもののなかから、初めてご紹介する作品を中心に展示します。出品作品は、戦前のもので近年に発表されたものまで幅広く、また様々な場所を背景として制作されています。そうした歴史や都市に対する複数の見方を宿した作品は、いまの私たちの在り方について、様々な方向から考える契機となることでしょう。なお、第3期と第4期の間、一部展示替えを行う予定です。
「オラファー・エリアソン」	2020年3月14日～ 6月14日	光や水、霧などの自然現象を自在に変容させ、見る者に新しい知覚体験を与える作品で世界的に高く評価されているオラファー・エリアソン(1967年コペンハーゲン生まれ)の個展です。本展は「エコロジー」をテーマに、自然を再構築したインスタレーションや彼のルーツであるアイスランドの風景写真から近年の建築やデザインのプロジェクまで、環境や社会に対するアートの多面的な可能性を探求し続けるエリアソンの試みを紹介しします。
「カディスト・アート・ファウンデーションとの共同企画展」	2020年3月14日～ 6月14日	世界各国の現代美術作品を收藏し、各地で展覧会やアーティスト支援を行っているカディスト・アート・ファウンデーションとの共同企画展。大気汚染をもたらす風や、生きる道を求めて国境を超える人々、甦る過去の出来事や、今も息づく神話伝承など、現代社会を形成するあらゆる枠組みや時空を超えて立ち現れ、存在し続けるものが、どのような世界の像を映し出し、新たな想像への可能性を湛えているのかを、作品を通じて探ります。
「ドローイングの可能性」	2020年3月14日～ 6月14日	デジタル化の加速する現代社会にあって、表現におけるドローイングの可能性は広がっています。本展では、美術家によるドローイングとともに、建築や音楽など多分野の記号的な機能をもつ手描きの表現を、現代におけるドローイングとしてとりあげ、平面における思考の実験とその可能性を再考します。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京都現代美術館広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話 03-5245-1134 FAX 03-5245-1141

<http://www.mot-art-museum.jp>

※ 大規模改修工事のため、平成31年3月28日まで休館中

※ お問い合わせ受付: 平日9時30分～18時(平成31年3月28日まで)、

※3月29日以降は美術館開館日に準ずる。(10時～18時)

※ 開館時間: 10時～18時(夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)

※ 休館日: 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

トーキョーアーツアンドスペース本郷(TOKAS本郷)

事業名	会期	概要
トーキョーアーツアンドスペースレジデンス 2019 成果発表展「予兆の輪郭」	第1期 2019年4月13日～ 5月19日 第2期 2019年6月1日～ 7月7日	2006年より実施しているレジデンス・プログラム参加作家の滞在制作、滞在時のリサーチをもとに制作された作品による成果発表展。2017年、2018年の二国間交流事業で海外の8都市（バーゼル、台北、ソウル、ケベック（モントリオール）、ベルリン、ロンドン、ヘルシンキ、マドリード）に派遣した作家と海外クリエイター招聘プログラムでTOKASレジデンス（東京都墨田区）に滞在した作家、計14組を2期に分けて紹介します。
TOKAS-Emerging 2019	第1期 2019年7月20日～ 8月18日 第2期 2019年8月31日～ 9月29日	若手アーティストの発掘、育成、支援プログラムのひとつとして、これまでに300名近くの新たな才能を紹介してきた「Emerging」が日本在住の35歳以下を対象にした公募プログラム「TOKAS-Emerging」として生まれ変わりました。2019年度は審査を経て選ばれた6名の若手アーティストを2期に分けて紹介します。展覧会初日にはゲストを交えてアーティスト・トークを開催します。
TOKAS Project vol.2 「FALSE SPACES」	2019年10月12日～ 11月10日	多文化的な視点を通じ、アートや社会等、様々なトピックについて思考するプログラム。海外のアーティストやキュレーター、アートセンターや文化機関等と協働し、2019年度は日本と香港のメディアアーティストによる展覧会を実施します。
OPEN SITE 2019-2020	第1期 2019年11月23日～ 12月22日 第2期 2020年1月11日～ 2月9日	アートにまつわるあらゆるジャンルを対象に、新しい表現を創造し、社会へと開いていく意欲に満ちた企画が集まるプラットフォームを目指す企画公募プログラム。選出された展示とパフォーマンス企画のほか、TOKASによる推奨企画を実施します。
ACT (Artists Contemporary TOKAS) Vol. 2	2020年2月22日～ 3月22日	若手アーティストの発掘、育成、支援プログラム等をおこなってきたTOKASの様々なプログラムに参加後活動を展開しているアーティストを中心に、注目すべき活動を行っているアーティストによるグループ展を開催します。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細はトーキョーアーツアンドスペース広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

《トーキョーアーツアンドスペース オフィス》（9時30分～18時15分）

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

電話 03-5245-1142 FAX 03-5245-1154

<http://www.tokyoartsandspace.jp/>

《トーキョーアーツアンドスペース本郷》

〒113-0033 文京区本郷2-4-16

※ 開館時間：11時～19時

※ 休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始

トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー(TOKASレジデンシー)

事業名	会期	概要
オープン・スタジオ2019-2020	2019年7月12日～14日 2019年11月15日～17日 2020年3月13日～15日	TOKASレジデンシー（東京都墨田区）では年間約50組のクリエイターが来日し、創作やリサーチを行っています。7月、11月、3月にクリエイターが滞在中の活動紹介や制作した作品を発表します。作家による解説やゲストを招いてのトークを開催し、施設見学ツアーも行います。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細はトーキョーアーツアンドスペース広報担当までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

《トーキョーアーツアンドスペース オフィス》（9時30分～18時15分）

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

電話 03-5245-1142 FAX 03-5245-1154

<http://www.tokyoartsandspace.jp/>

《トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー》

〒130-0023 墨田区立川2-14-7-1F(オフィス501)

※オープン・スタジオは11時～17時に開催

東京都美術館(1)

事業名	会期	概要
特別展 「クリムト展 ウィーンと日本 1900」	2019年4月23日～ 7月10日	19世紀末ウィーンを代表する画家グスタフ・クリムト（1862-1918）。華やかな装飾性と世紀末的な官能性を併せ持つその作品は、いまなお圧倒的な人気を誇ります。本展では、「黄金様式」の時代の代表作をはじめ、甘美な女性像や風景画等の他、ウィーン分離派会館を飾る壁画の精巧な複製を展示します。さらに、同時代のウィーンで活動した画家たちの作品や、クリムトが影響を受けた日本の美術品等も併せ、ウィーン世紀末美術の精華をご覧ください。
「都美セレクション グループ展 2019」	2019年6月9日～30日 *グループ毎に会場を分けて開催	従来の発想にとらわれず新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的とし、当館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し実施します。2019年度は、審査により選出した3グループの展覧会を開催します。
企画展 「伊庭靖子展 まなざしのあわい」	2019年7月20日～ 10月9日 21時まで特別開室： 7月26日、8月2日、9日、16日、23日、30日	誰もの身近にありそうな寝具や花器などをモチーフに、質感やそれらが纏う光や空気を表現しつづけてきた伊庭靖子(いばやすこ)(1967-)。美術館では10年ぶりの個展となる本展では、油彩に加え、版画・映像も発表する予定です。当館で撮影した写真をもとにした作品をはじめとする近作・新作を中心に紹介しながら、そこに至る以前の作品も併せて展示することで、この10年の変化とともに伊庭靖子の変わらない関心の核に迫ります。
特別展 「コートールド美術館展 魅惑の印象派」	2019年9月10日～ 12月15日	世界有数の印象派・ポスト印象派のコレクションを誇る、ロンドンのコートールド美術館から絵画・彫刻約60点が来日。画家の語った言葉や同時代の状況、制作の背景、科学調査により明らかになった制作の過程など、コートールド美術館の長年にわたる研究の成果も紹介し、作品を読み解いていきます。マネの傑作《フォーリー=ベルジェールのバー》やルノワールの《棧敷席》をはじめ、セザンヌ、ゴーガン、モネ、ドガらの作品を紹介します。
上野アーティストプロジェクト2019「美術」	2019年11月16日～ 2020年1月5日	公募団体に活躍している現代作家を紹介する「上野アーティストプロジェクト」の第3弾です。「子どもへのまなざし」をテーマに美術公募団体に所属している作家を複数選出して作品を展示し、各作家の魅力を紹介します。
コレクション展	2019年11月16日～ 2020年1月5日	同時開催の「上野アーティストプロジェクト」のテーマに合わせて、現在、東京都美術館で収蔵している美術作品を展示します。美術の世界を分かりやすく紹介し、広く一般に伝える展覧会といたします。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

電話 03-3823-6921 FAX 03-3823-6920

http://www.tobikan.jp

※ 開館時間：9時30分～17時30分（特別展開催中の金曜日は20時まで、夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館）

※ 休館日：第1・第3月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室（祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室）

東京都美術館(2)

事業名	会期	概要
特別展 「ハマスホイとデンマーク 絵画」	2020年1月21日～ 3月26日	静かな室内の情景を描き続けたデンマークを代表する画家ヴィルヘルム・ハマスホイ(1864-1916)は、“北欧のフェルメール”とも評され、2008年の回顧展以来、日本でも脚光を浴びています。ハマスホイをはじめ、「黄金期」と呼ばれた19世紀デンマーク絵画の精華を日本で初めて本格的に紹介する展覧会となります。デンマークが生んだ珠玉の絵画の数々をぜひご堪能ください。
「とびらプロジェクト」フォーラム	2020年2月	当館は、東京藝術大学と連携し「とびらプロジェクト」を実施しています。市民、美術館学芸員、大学教員の3者が対等な目線で対話を重ね、プログラムを実施するなど、アートを介した人々の新しいコミュニケーションが生まれています。フォーラムでは、現在約120名からなるアート・コミュニケーター(とびラー)が所属する「とびらプロジェクト」の具体的な活動を紹介するとともに、パネルディスカッション等を実施します。アート・コミュニケーターの新規募集にあたり、活動の詳細がわかる、年に1度の機会となります。
建築ツアー	奇数月の第3土曜日 など年間10回程度	展覧会だけではなく、美術館の建物そのものも楽しんでほしい！そんな思いから始まったツアーです。当館のアート・コミュニケーター(とびラー)の案内で、館内外を散策し、建築の魅力に迫ります。ガイド個々人のオリジナリティが発揮され、それぞれ独自のツアーを展開中です。各回のツアー日時・内容は、美術館のホームページにて随時お知らせします。
障害のある方のための特別鑑賞会	特別展ごとに1回	障害のある方がゆったりと安心・安全に特別展を鑑賞できるよう、休室日に特別鑑賞会を開催しています。事前申込制で特別展ごとに1回開催し、当館のアート・コミュニケーター(とびラー)が当日のサポートをします。担当学芸員による展覧会ワンポイント・トーク(手話通訳付き)も開催します。
MuseumStartあいうえの 「あいうえのオープンデー」 【アーツカウンシル東京事業】	2019年11月16日～ 2020年1月5日	MuseumStartあいうえのは上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、子供と大人が学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。「あいうえのオープンデー(仮称)」では、小中高年生とその保護者を対象とした、ミュージアムの魅力を味わう鑑賞と造形のワークショップを行います。ミュージアムが持つ豊かな文化資源を使った主体的な学びの場を継続的に支援していきます。(要事前申込)
MuseumStartあいうえの 「あいうえの学校」 【アーツカウンシル東京事業】	○スペシャル・マンデー・コース: 2019年9月17日、9月30日、11月25日、12月9日。 各日2～3団体 ○うえのウェルカムコース: 2019年7月～2020年3月 各月1～2団体	文化財を媒介に子供たちの見る・聞く・話す・書くなどのコミュニケーションを活発にし、鑑賞を通じて観察力や、他人の意見を聞く力、自分の意見を言語化する力などを高める、学校などの団体を対象としたプログラムです。事前の授業で使えるアートカードなどの鑑賞教材や事後の学習で使える「ミュージアム・スタート・パック」なども提供します。スペシャル・マンデー・コースではアート・コミュニケーター(とびラー)が子供たちの鑑賞をサポートします。過去の豊富な事例を元に学習指導要領にも対応する授業を実施することができます。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

電話 03-3823-6921 FAX 03-3823-6920

<http://www.tobikan.jp>

※ 開館時間: 9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで、夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)

※ 休館日: 第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)

東京文化会館(1)

事業名	会期	概要
上野 de クラシック	2019年4月～2020年3月(全16回) 2019年4月17日 他	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に開催するコンサートです。ソロやアンサンブル等さまざまな形態の演奏をお届けします。平日の午前中を中心に、午後や夜にも開催予定です。 会場：小ホール
東京音楽コンクール 入賞者支援リサイタル	2019年4月～2020年3月(全5回程度)	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に、入賞者と東京文化会館との共催によるリサイタルを開催します。 会場：小ホール
創遊・楽落らいぶ —音楽家と落語家の コラボレーション—	2019年6月～2020年3月(全5回) 2019年6月20日 他	ミニ・コンサートと、落語と音楽のコラボレーションの2本立てからなる公演です。スペシャル版の夜公演と、外国人にも楽しめるイラスト&英語字幕付き公演も開催予定です。 会場：小ホール
《響の森》コンサート	2019年8月1日、 2020年1月3日	国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え、オーケストラによるコンサートを手頃な料金で鑑賞いただき、クラシック音楽の魅力をお伝えします。 指揮：小林研一郎(8月1日) / 外山雄三(1月3日) 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
夏休み子ども音楽会2019 《上野の森文化探検》	2019年8月4日	指揮者の解説を交えた、フルオーケストラによるファミリー向けのクラシックコンサートです。上野地域の美術館、博物館等に無料や割引で入場できる特典付きです。 指揮・お話：山下一史 管弦楽：東京都交響楽団 会場：大ホール
第17回 東京音楽コンクール 第 2次予選	2019年8月16日～18 日	新人若手音楽家の発掘を目的とした東京音楽コンクールの第2次予選(公開審査)です。2019年度は、ピアノ、木管、声楽の3部門を対象に開催します。 8月16日：木管部門、17日：ピアノ部門、18日：声楽部門 会場：小ホール

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館
〒110-8716 台東区上野公園5-45
電話 03-3828-2111 FAX 03-3828-6406
<http://www.t-bunka.jp/>
※ 開館時間：10時～22時
※ 休館日：年末年始、保守点検日

東京文化会館(2)

事業名	会期	概要
第17回 東京音楽コンクール 本選	2019年8月22日、 24日、26日	東京音楽コンクール第2次予選通過者による 本選(オーケストラ伴奏による演奏審査) で、各部門の第1位から第3位の入賞者等を選出し、表彰式を行います。 8月22日：木管部門、24日：ピアノ部門、26日：声楽部門 会場：大ホール
東京文化会館オペラBOX 「泣いた赤おに」	2019年9月22日、23日	小ホールの特性を活かした 特色あるオペラ公演を、上野中央通り商店会との共催で、東京音楽コンクール入賞者を起用 して開催します。 演目：松井和彦作曲「泣いた赤おに」 会場：小ホール
第17回 東京音楽コンクール 優勝者&最高位入賞者コンサート	2020年1月13日	第17回 東京音楽コンクール各部門優勝者・最高位入賞者の披露演奏会 です。司会者による各演奏後のインタビューを通し、ソリストの人柄も紹介します。 ソリスト：木管部門、ピアノ部門、声楽部門の各優勝者 又は最高位入賞者 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 会場：大ホール
舞台芸術創造事業 「400歳のキャストラート」	2020年2月15日	小ホールの空間を活かした実験的、前衛的な舞台芸術作品を多彩なコラボレーションにより創造・発信する舞台芸術創造事業。2019年度は 音楽と演劇のコラボレーションによるモノオペラ を制作します。 カウンターテナー：藤木大地 演出：平常 会場：小ホール
東京文化会館 バックステージツアー	全5回開催 (開催日未定)	普段見ることのできない舞台裏等の見学 を通して、当館の歴史と事業を多くの方々に知っていただき、親しみを深めていただく機会を提供します。 <舞台編>と<建築編> を開催します。 ツアー内容：大ホール舞台装置や出演者が残したサインの見学、照明スポットの操作体験等 会場：大ホール
ティータイムコンサート	全5回開催 (開催日未定)	昼下がりのひと時、 大ホールのホワイエで行う無料のコンサート です。 出演者：東京都交響楽団の団員 会場：大ホール ホワイエ

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。

詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館
〒110-8716 台東区上野公園5-45
電話 03-3828-2111 FAX 03-3828-6406
<http://www.t-bunka.jp/>
※ 開館時間:10時~22時
※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京文化会館(3)

事業名	会期	概要
東京文化会館 公開リハーサル	全1回開催 (開催日未定)	通常是非公開の「音楽創り」を進めていく過程を無料公開します。公演の新たな魅力や楽しみ方を発見できる事業です。 会場：大ホール
貸館連携事業	全3回程度開催 (開催日未定)	次代を担う子供達や高齢者等を対象とし、貸館利用者との連携により、オペラやバレエ公演と連動した講座や公開リハーサル、ボックスステージツアー等を行う事業です。 会場：大ホール 他
地域等連携事業	全3回程度開催 (開催日未定)	都内外の文化施設と連携し、若手アーティストの活躍の場の提供協力等を行います。
オペラ夏の祭典2019-20 Japan⇄Tokyo⇄World 『トウランドット』	2019年7月12日～14日	世界で活躍する指揮者、大野和士が総合プロデュースを務め、スペインのスペクタクル演出家として名高いアレックス・オリエとともに、日本オペラ界の総力を結集して贈る一大プロジェクトです。 総合プロデュース・指揮：大野和士 演出：アレックス・オリエ 管弦楽：バルセロナ交響楽団 会場：大ホール
Music Program TOKYO Enjoy Concerts! 【アーツカウンシル東京事業】	全55回以上開催 (開催日未定)	東京の音楽文化の活性化・創造力の向上を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした事業として、多彩なコンサートを実施します。 ・Jazz meets Classic ・3歳からの楽しいクラシック ・プラチナ・シリーズ ・まちなかコンサート ・シャイニング・シリーズ
Music Program TOKYO Workshop Workshop! 【アーツカウンシル東京事業】	全130回以上開催 (開催日未定)	ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」をはじめとした、国内外の様々な機関と連携し、多様なワークショップを開催する他、ワークショップ・リーダーの育成プログラムを実施します。また、社会的弱者等を対象としたプログラムを充実させ、地域文化施設と連携し、若手アーティストによる地域活性化を目指す事業に取り組みます。 ・国際連携企画 ・東京ネットワーク計画 ・2020 on stage & legacy
Music Program TOKYO Music Education Program 【アーツカウンシル東京事業】	全50回以上開催 (開催日未定)	次世代を担う子供たちを中心に、幅広い層に向けて企画された、「創造性」と「参加性」を重視した音楽教育プログラムを通年で実施します。 ・Talk & Lesson ・アウトリーチ・コンサート ・オペラをつくろう！ ・アウトリーチ・ワークショップ

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京文化会館
〒110-8716 台東区上野公園5-45
電話 03-3828-2111 FAX 03-3828-6406
<http://www.t-bunka.jp/>
※ 開館時間：10時～22時
※ 休館日：年末年始、保守点検日

東京芸術劇場:音楽(1)

事業名	会期	概要
海外オーケストラシリーズ スイス・ロマン管弦楽団	2019年4月13日	クラシック音楽ファンの期待に応え、海外一流オーケストラの来日演奏会を開催します。ソリストにヴァイオリニストの辻彩奈を迎え、 ジョナサン・ノット指揮ノスイス・ロマン管弦楽団によるコンサートを開催 します。 会場：コンサートホール
NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2019年8月30日	「N響JAZZ at 芸劇」シリーズに続き、 管弦楽とジャズ双方にアピールする企画として、タイトルも新たに「NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇」を立ち上げます。 話題のジャズ作曲家、挟間美帆による書き下ろし新作も発表します。 会場：コンサートホール
ボンクリ・フェス2019 "Born Creative" Festival 2019	2019年9月28日	作曲家の藤倉大をアーティストック・ディレクターに迎え、 ポーン・クリエイティブな(人は生まれながらにして創造的である)感性により、様々な音楽をシャッフルし、ジャンルを越えた新しい音の祭典を開催。 ワークショップや無料演奏会、スペシャル・コンサートなどを展開します。 2017年度に初開催し好評を得た企画の第3回目。 会場：コンサートホール他
東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2019	2019年9月、10月 (全3回開催)	国内外で活躍する吹奏楽団の演奏会をシリーズで紹介 します。東京吹奏楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、英国から ブラック・ダイク・バンド が参加します。 会場：コンサートホール
コンサートオペラvol.7 ビゼー／歌劇『ジャミレ』 ドビュッシー／『放蕩息子』	2019年10月26日	音楽的に優れたオペラ作品や大規模声楽作品のコンサート形式での演奏会を開催 します。7回目となる今回は、 ビゼー／歌劇『ジャミレ』 を日本初演するとともに、 ドビュッシー／『放蕩息子』 も演奏します。 会場：コンサートホール
読響との事業提携シリーズ (マーラー／交響曲第3番)	2019年12月6日	読売日本交響楽団との事業提携に基づき開催するコンサート。 今回は、指揮に井上道義、ソリストに池田香織を迎え、 マーラーの交響曲第3番をメインに据えた演奏会 を行います。 会場：コンサートホール

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京芸術劇場広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215
<http://www.geigeki.jp/>
※ 開館時間:9時~22時
※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京芸術劇場:音楽(2)

事業名	会期	概要
NHK交響楽団 特別演奏会	2019年12月14日	NHK交響楽団による 特別演奏会 を実施。世界的マエストロと日本のトップ・オーケストラによる定期演奏会プログラムを池袋で聴くことのできるまたとない機会を提供します。 会場：コンサートホール
海外オーケストラシリーズ フィルハーモニア管弦楽団	2020年1月23日、28日、29日	エサ=ペッカ・サロネン指揮による、イギリスを代表する名門オーケストラ、フィルハーモニア管弦楽団のコンサートを3公演実施します。 会場：コンサートホール
シアターオペラvol.13 ヴェルディ/ 歌劇『ラ・トラヴィアータ』	2020年2月22日	指揮にH.シェーファー、演出に矢内原美邦を迎え、 ヴェルディの歌劇『ラ・トラヴィアータ』 を上演します。気鋭の演出家がオペラ演出に取り組む新しいオペラを全国共同制作で上演します。 会場：コンサートホール
読響 土曜/日曜 マチネーシリーズ (事業提携)	全20回開催	日本を代表するトップ・オーケストラのひとつ、 読売日本交響楽団との事業提携に基づき開催するコンサート・シリーズ です。 会場：コンサートホール
リサイタルシリーズ ベートーヴェン/ ピアノ・ソナタ全曲演奏会	2020年1月	日本を代表するピアニスト達による ベートーヴェン「ピアノ・ソナタ」全曲演奏会 を開催します。個性あふれるピアニストたちの競演をお楽しみいただけます。 会場：コンサートホール
東京ホワイトハンド コーラス	通年	聴覚障害や自閉症、発声に困難を抱える子供たちの参加を重視したプロジェクトとして、2017年に結成された「東京ホワイトハンド・コーラス」。講師のソプラノ歌手コロネりかとエル・システマ・ジャパンを中心に、 白い手袋をして歌う手歌の”サイン隊”と、盲学校に通う子供たちによるコーラス”声隊” と共に、練習や成果発表を行います。 会場：東京芸術劇場内各所

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京芸術劇場広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215
<http://www.geigeki.jp/>
※ 開館時間:9時~22時
※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京芸術劇場:音楽(3)

事業名	会期	概要
コンサートホール 活性化事業(提携)	通年	午前中開催の人気企画「ランチコンサート・シリーズ」や、ヴァイオリニスト前橋汀子による「デイライト・コンサート」など、お手頃な入場料で一流の演奏をお楽しみいただけるコンサートを通年事業として展開します。 会場：コンサートホール

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京芸術劇場広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215
<http://www.geigeki.jp/>
※ 開館時間:9時~22時
※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京芸術劇場：演劇・舞踊（1）

事業名	会期	概要
東京芸術劇場・豊島区・ITI(国際演劇協会)共催 中国国家話劇院 「リチャード三世」	2019年4月5日～7日	英国グローバル・シェイクスピア・フェスティバルにも招聘され、中国国家芸術院優秀賞を受賞した中国国家話劇院による話題作を上演します。 会場：プレイハウス
TACT/FESTIVAL2019 【アーツカウンシル東京事業】	2019年5月4日～6日	ゴールデンウィークに、子供から大人まで幅の広い世代に楽しんでいただけるフェスティバルを実施します。英国のシアターカンパニー1927による演劇公演や、親子向けのコンサート、アトリエでのワークショップ等を開催。 会場：コンサートホール（5月5日のみ）、プレイハウス、アトリエイースト、アトリエウエスト、劇場前広場等
芸劇dance ローザス 「A Love Supreme ～至上の愛」 「我ら人生のただ中であって / バッハ無伴奏チェロ組曲」 【アーツカウンシル東京事業】	「A Love Supreme ～至上の愛」 2019年5月9日～12日 「我ら人生のただ中 にあって / バッハ無伴奏 チェロ組曲」 2019年5月18日、19日	世界的に知られる振付家アンヌ・テレサ・ドウ・ケースマイケル率いるダンスカンパニー「ローザス」による待望の来日公演。今回はジョン・コルトレーンと、J.S.バッハの無伴奏チェロ組曲に振付けた2作品を上演します。 会場：プレイハウス
東京芸術劇場・まつもと市民芸術館共催公演 「K.テンペスト 2019」	2019年5月22日～26日	まつもと市民芸術館との共催で、串田版・シェイクスピア幻想音楽劇を東京で上演します。 演出・潤色・美術：串田和美 会場：シアターイースト
国際創造発信事業 韓国ナショナル・シアターカンパニー招聘公演「ポッコちゃん～星新一ショートショートセレクション」 【アーツカウンシル東京事業】	2019年5月30日～6月2日	韓国ナショナル・シアターカンパニーによる星新一のショートショートをオムニバスで舞台化した作品を招聘し、上演します。 会場：シアターイースト
若手提携公演	2019年6月、10月	人気・実力ともに充実し、日本の演劇界を牽引する若手・中堅劇団との提携公演を行います。 2019年度は、モダンスイマーズの書き下ろし新作と、劇団チョコレートケーキ「治天ノ君」を上演します。 会場：シアターイースト

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京芸術劇場広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215
<http://www.geigeki.jp/>
※ 開館時間：9時～22時
※ 休館日：年末年始、保守点検日

東京芸術劇場：演劇・舞踊（2）

事業名	会期	概要
熊林弘高演出 「お気に召すまま」	2019年7月下旬～8月中旬	当劇場を中心に優れた作品を生み出し続けている 演出家の熊林弘高 を起用し、 実力派キャスト による シェイクスピア作の恋愛喜劇 「お気に召すまま」を上演します。 会場：プレイハウス
芸劇dance イデビアン・クルー新作 「幻想振動」	2019年7月26日～28日	才能あふれる振付家・ダンサーの 井手茂太 を中心に活動が続ける コンテンポラリーダンス・カンパニー「イデビアン・クルー」 の新作を上演します。 会場：シアターイースト
藤田貴大作・演出「めにみえない みみにしたい」 【アーツカウンシル東京事業】	2019年8月31日～9月1日	当劇場で優れた作品を発表し続けている マームとジブシー 主宰の 気鋭演出家、藤田貴大 による 子供たちのための舞台 。親子で見られる作品の上演で劇場の賑わいを創出します。 会場：シアターイースト
芸劇eyes系事業	2019年9月～2020年3月	若手劇団の中で特に注目を集めつつある団体と提携し「芸劇が注目する才能たち、」のキャッチフレーズで始まったシリーズ。 2019年度は「 贅沢貧乏 」「 鳥公園 」「 ワワフラミンゴ 」「 てがみ座 」「 烏丸ストロークロック 」「 玉田企画 」が登場です。 会場：シアターイースト、シアターウエスト
NODA・MAP新作公演	2019年10月、11月～12月	優れた作品を制作する団体と芸劇の共催で幅広い演目を紹介する 芸劇レパートリー事業 として、 NODA・MAPと共催 で当館芸術監督の 野田秀樹 の新作を上演します。 会場：プレイハウス
東京芸術祭2019 【アーツカウンシル東京事業】	2019年9月21日～11月23日	豊島区エリアを中心に展開されている舞台芸術フェスティバル。「 芸劇オータムセレクション 」「 フェスティバル直轄プログラム 」として、 ドイツの世界的演出家オスターマイヤー 作品など、国内外から話題作を集めて上演します。 会場：プレイハウス、シアターイースト、シアターウエスト他

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京芸術劇場広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215
<http://www.geigeki.jp/>
※ 開館時間：9時～22時
※ 休館日：年末年始、保守点検日

東京芸術劇場：演劇・舞踊（3）

事業名	会期	概要
東京芸術劇場・三重県文化会館・キナダ共催公演 新作（タイトル未定）	2019年11月～12月	劇作家・演出家・俳優である松井周と、小説家・村田沙耶香のコラボレーションによる新作クリエイション。村田作品としては初の舞台化となります。 会場：シアターイースト
「自作自演」「朗読東京」 【アーツカウンシル東京事業】	2019年12月他	異なる世代の作家がそれぞれ自作を朗読した後、トークを展開する「自作自演」。東京を舞台にした小説、エッセイなどを俳優が朗読し、その後、東京に関するトークをゲストMCと展開する「朗読東京」。芸劇が継続的に取り組んでいるリーディング&トークシリーズです。 会場：シアターイースト
芸劇dance田中泯「オドリに恋して 其の二」	2020年1月	国内外で活躍するダンサーの田中泯が、職人や美術家など様々なジャンルの才能豊かな人達と組み、新たな創造に挑戦するダンス新作を発表します。 会場：シアターイースト
東京芸術劇場・リゅーとぴあ共催公演「エブリ・ブリリアント・シング」 【アーツカウンシル東京事業】	2020年1月～2月	地方の公共劇場との連携により、観客が登場人物として作品に参加するなど、斬新な仕掛けを施した観客参加型演劇を、人気と実力を兼ね備えた俳優の出演で上演します。大切な家族や友人を失った人の心のケア（グリーフケア）を扱う作品を、上演のみならず、公募企画、ワークショップ、シンポジウムなど全国の参加館と連携して多角的に紹介します。 会場：シアターイースト
東京芸術劇場・ホリプロ共催インバル・ピント&アブシャラム・ポラック新作	2020年2月～3月	ミュージカル「100万回生きたねこ」の演出・振付などで日本でもその手腕が高く評価されているイスラエル出身のユニット、インバル・ピント&アブシャラム・ポラックによる新作公演を予定。 会場：プレイハウス
東京芸術劇場・水戸芸術館・兵庫県立芸術文化センター共催 「星の王子さま」	2020年2月	世界的ベストセラーのサン＝テグジュペリの作品を、3人の俳優とピアノ、コントラバスの編成で、新しい音楽劇として上演します。 脚本・演出：青木豪 会場：シアターイースト

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京芸術劇場広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215
<http://www.geigeki.jp/>
※ 開館時間：9時～22時
※ 休館日：年末年始、保守点検日

東京芸術劇場：演劇・舞踊（4）

事業名	会期	概要
野田秀樹作・野上絹代演出「カノン」 【アーツカウンシル東京事業】	2020年2月～3月	芸術監督野田秀樹の戯曲を、快快のメンバーである気鋭の若手演出家野上絹代が、独特の感性と解釈で新たに演出します。 会場：シアターイースト
One Green Bottle 海外公演	2020年3月	野田芸術監督が、2017年にイギリスの俳優たちと創造した「One Green Bottle」(「表にでろいっ！」英語版)を、韓国、英国、ルーマニアでの上演に続き、海外にて公演します。 上演予定地：アメリカ、台湾
芸劇dance勅使川原三郎 × 庄司紗矢香	2020年3月	ダンスに留まらず演出、美術、照明とその才能を発揮し、世界を舞台に活躍する勅使川原三郎とヴァイオリニスト庄司紗矢香のコラボレーションによる新作ダンス公演を予定しています。 会場：プレイハウス

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京芸術劇場広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215
<http://www.geigeki.jp/>
※ 開館時間：9時～22時
※ 休館日：年末年始、保守点検日

東京芸術劇場:教育普及・人材育成等(1)

事業名	会期	概要
音楽大学オーケストラ・フェスティバル	2019年11月30日、 2020年3月29日	首都圏9つの音楽大学とミュージアム川崎シンフォニーホールと連携した共同企画です。 3月の公演は、各大学選抜メンバーによる合同オーケストラ公演で、未来に羽ばたく人材の交流や育成に寄与する機会となります。 会場：コンサートホール 他
0才から聴こう!!／ 4才から聴こう!! 春休みオーケストラ コンサート	2020年3月31日	2007年にスタートした読売日本交響楽団と当劇場が協力して開催しているファミリー向けのコンサートです。赤ちゃんから大人まで、幅広い世代がオーケストラの上質な音楽を低料金で鑑賞できる機会を提供しています。1日2回公演を予定しています。ベビーカー置き場、授乳室、オムツ替えスペースをご用意しています。 会場：コンサートホール
レクチャー(公演関連、 アーツマネジメント)	通年	劇場主催のコンサートや演劇作品の背景などを理解し、鑑賞をより深く楽しむためのレクチャーや、舞台芸術関係のキャリアアップに役立つセミナー等を開催します。広く一般の方に舞台芸術への関心を持ってもらい、親しんでもらう機会を提供します。 会場：劇場内各所
ワークショップ(エデュケーションほか)	通年	国内外の優れた講師を招き、ファシリテーターやエデュケーターの養成等、様々なワークショップや講座を開催します。 会場：劇場内各所
アトリウムの賑わい創造事業(地域連携、大道芸等)	通年	劇場前広場やアトリウム等のパブリック・スペースを活用して大道芸等のストリート・アートを行い、多くの方々に親しみをもってもらえる劇場を目指します。また、地元池袋エリアとの連携強化のため、地域イベントにも積極的に関わり、支援していきます。
バックステージツアー	通年	普段なかなか見ることのできない劇場バックステージの見学やスタッフワークの体験を通し、舞台芸術の新たな楽しみ方や魅力発見につながる機会を提供します。劇場施設への理解を深め、誰もが楽しめる、より身近で親しみのある施設となることを目的とした事業です。 会場：コンサートホール、プレイハウス

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京芸術劇場広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215
<http://www.geigeki.jp/>
※ 開館時間:9時～22時
※ 休館日:年末年始、保守点検日

東京芸術劇場:教育普及・人材育成等(2)

事業名	会期	概要
オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト、ランチ、講座)	通年	世界最大級で唯一の回転式パイプオルガンを持つ当劇場ならではの事業として、ランチタイム、ナイトタイムにオルガン・コンサートを低廉な価格でお楽しみいただけます。また、聴くだけでなく楽器や演奏家、楽曲などについての知識を学びたい方を対象にした講座も開講します。 会場：コンサートホール
芸劇ウインド・ オーケストラ・アカデミー	通年	プロフェッショナルを目指す国内の管打楽器奏者のレベルアップに主眼を置き、演奏技術のみならず、アウトリーチ活動やキャリアアップ・ゼミ等を通して次代を牽引する多角的視野をもつ演奏家を育成するプロジェクト事業です。 会場：コンサートホール 他
芸劇ジュニア・ アンサンブル・アカデミー	通年 (計10日間程度予定)	演奏経験のある小・中・高校生を対象とし、読売日本交響楽団のメンバーが指導にあたるセミナークリニックです。修了時には、読売日本交響楽団のメンバーと共に成果発表をします。 会場：リハーサルルーム 他
東京演劇道場	通年	野田秀樹芸術監督が、次代を担う芝居人の育成を目指し、俳優や演出家など演劇人の修行・交流の場を開設します。様々な講師を招き、ワークショップなどを継続的に行っていきます。
都民コンサート	2019年4月～10月 ※8月を除く	毎年恒例、4月から10月までの毎週水曜日と金曜日の昼に、日比谷公園小音楽堂で無料のコンサートを開催します。どなたでも自由に入場でき、音楽の楽しさを味わえるコンサートです。 吹奏楽：警視庁音楽隊（水曜日） 東京消防庁音楽隊（金曜日） 会場：日比谷公園 小音楽堂
都民半額観劇会	2019年(年4回) (春、夏、都民の日記念/秋、冬)	都内の劇場で開催される質の高い作品を低廉な料金で観劇できます。東京の芸術鑑賞環境の充実を目指すとともに、将来の演劇人口の裾野を広げる事業です。

※この内容は平成31年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。詳細は東京芸術劇場広報担当にお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1
電話 03-5391-2117(広報直通) FAX 03-5391-2215
<http://www.geigeki.jp/>
※ 開館時間:9時～22時
※ 休館日:年末年始、保守点検日